

治癒の病理

—ペリオ・エンドの治療のために—

と き 9月 29日(日) 午前 9:30~12:30

ところ 金沢ニューグランドホテル 4階 金扇

(金沢市南町4-1 Tel076-233-1311) ※駐車場は近隣の有料パーキングをご利用ください

講 師 下野 正基 氏 (東京歯科大学名誉教授)

対 象 会員医療機関の歯科医師、スタッフ(定員100人)

参加費 無 料 (要申込み) ⇒ 参加申込は裏面から

待望の講演会！

1993年、下野正基先生を中心として編集された『治癒の病理 臨床編 第1巻・歯内療法』、続く『治癒の病理 臨床編 第2巻・歯周治療』(1994年)が出版されるやいなや、研究レベルの高さは無論のこと、「臨床」と綿密にリンクする「基礎」を簡潔明瞭に、しかも面白く解説された点で、瞬く間に日本中の臨床家の脚光を浴びることとなったことは周知のことと思います。その後も、第3巻・歯の移植、再植(1995年)、第4巻・インプラント(1996年)と続くシリーズを貪るように読みあさった諸氏も多いのではないのでしょうか。

一昨年には『新編 治癒の病理』(下野正基著)も出版され、今や『治癒の病理』はバイブルの一つとしての地位を占めるに至ったと評しても過言ではないかと思えます。

今回は、膨大な研究からペリオとエンドに的を縛った講演会を予定していますが、おそらく3時間は瞬く間に過ぎ去り、あとからフツフツと感動が湧き上がるものとなるに違いありません。絶好の機会をご活用していただきたく、ご案内いたします。

(石川県保険医協会 歯科部)

※なお、事前に『新編治癒の病理 臨床の疑問に基礎が答える』(2011年、医歯薬出版)にお目通しいただければ、理解が深まるかもしれません。

石川県保険医協会

金沢市尾張町2-8-23 太陽生命金沢ビル8階
TEL 076-222-5373
FAX 076-231-5156
Email ishikawa-hok@doc-net.or.jp

裏面に
講師抄録と
参加申込書
があります

◆講演抄録◆

「治癒の病理—ペリオ・エンドの治療のために」

下野 正基 (東京歯科大学名誉教授)

ペリオの臨床と治癒との関連から「上皮性付着による歯周組織再生」について、エンドの臨床との関連から「象牙質・歯髄複合体の反応と再生、および根尖病変の臨床病理」に焦点を絞って解説する。

歯周組織再生に関してはMelcherの仮説が重要であり、歯周治療後理想的には結合組織性付着という形で歯周組織は再生する。しかし多くの場合、長い付着上皮による上皮性付着が起こる。長い付着上皮による上皮性付着は結合組織性付着に置換される実験の結果を示す。しかも長い付着上皮には、正常付着上皮と同様ラミニン・インテグリンが発現しており、非常に安定した治癒形態であることがわかる。

臨床的考察として、①長い付着上皮による上皮性付着の臨床的意義、②歯周ポケットの形成、③病態を反映する歯肉の色や形、④クリーピングアタッチメント、⑤ルートプレーニングを成功させるには、などにつ

いて述べる。

「象牙質・歯髄複合体」という概念は国際的にも受け入れられている。臨床的にも、象牙質と歯髄は同一の組織として処置する必要がある。象牙質・歯髄複合体は低酸素条件下でも、熱刺激下でも恒常性を維持するが、その機序について説明する。これまで、象牙芽細胞が壊死・消失した後にデンチンブリッジや第3象牙質が形成される(修復性象牙質形成)と考えられてきたが、近年象牙芽細胞が生存した状態でも象牙質形成(反応性象牙質形成)が起こることがわかってきた。その機序には侵害受容器やチャンネルなどが関与するが、それらの新知見について説明する。

臨床的考察としては、①歯の痛みに関する新しいメカニズム、②加齢に伴って狭窄する歯髄腔、③ユージノールの鎮静効果、④病理からみた根尖病変、などについて解説する。

●プロフィール

1945年 5月 北海道富良野市生まれ
1970年 3月 東京歯科大学卒業
1974年10月 ミラノ大学医学部薬理学研究所客員研究員
1976年 9月 学位受領(歯学博士)東京歯科大学
1990年 4月 日本病理学会認定口腔病理医(第30号)
1991年 4月 東京歯科大学病理学講座主任教授
2011年 4月 東京歯科大学教授名誉教授
2012年 1月 日本歯科医学会会長賞受賞

非常勤講師(2013年1月現在)

大阪大学、広島大学、新潟大学、朝日大学、北海道医療大学、鶴見大学、延世大学(韓国)

○主な著書

下野正基「新編治癒の病理」、医歯薬出版、2011

下野正基「やさしい治癒のしくみとはたらき 歯周組織編」、医歯薬出版、2013(印刷中)

日時：9 / 29 (日) 9:30 ~
場所：金沢ニューグランドホテル

参加申込書

申込締切
9/24(火)

- ▶ このまま切り取らずにFAXを送信して下さい ⇒ FAX076-231-5156 (保険医協会宛)
- ▶ 電話、メールでの申し込みも可能です(連絡先は表面参照)

①医療機関名	
②電話番号	— —
③申込者名	
④参加人数	人